



うちこ福祉館だより



令和6年
1月発行
電話・FAX
44-3410

第十五回福祉館まつり 人権講演会

十月三十日(月)に人権デイク・ルート代表の坂田 かりさんをお迎えし、「いのち輝いて生きる」と題してご講演いただきました。



坂田さんは、従来の同和教育のイメージが、語り部が暗い顔をして「差別を受けて可哀想」といった内容のものと固定化していませんか、参加者に問いかけました。マイナスイメージだけが強く残り、聞き手が現在進行形としてリアルティーを感じられず、本来伝えるべき大切なメッセージ「命がけで産まれた生命が、なぜ生まれ

つきのことで差別されなければならないのか」その問いが届いていないと話されました。講演の最後まで、参加者の一人ひとりに向けて真つすぐに届く、これまで拝聴した講演会のどの講師とも違った、どこまでも率直な言葉が続けられました。「マイナスと思われる要素が多分にあっても差別を受けて良いわけがない、差別して良いわけがない」と述べる姿からは、差別を絶対に許さぬゆるぎない信念を感じます。何度もご自身を「口が悪い」と話されましたが、学生時代から差別をしたことも含めて素直に語れる仲間との関係を築き、大好きな故郷や家族が理不尽な差別を受けないよう実践してきた「差別しない生き方をして欲しい」との思いが伝わります。部落差別は昔のこと、自分の故郷にはないから分らない、などの発言を耳にする度に、自分が気付かなかったただけ、そう捉えることは難しいことなのか、と実感します。悪意のない差別は見過ごされがちです。ただ、その言葉で存在を否定され、深く傷ついている方たちがいます。

人を認めることで自分も認められることの大切さ、それが生きやすい世の中であること、講演後に参加者の心が軽くポジティブな気持ちになれる痛快な講演でした。



第十五回福祉館まつり

十一月十一日(土)、「私の人権もあなたの人権も守られる世界へ」をテーマに開催。人権啓発作品展示、和紙づくり体験、職員の手作りクッキーや館利用団体の手作り作品の販売のほか、募集した内子・中・高等学校の児童生徒による人権標語・人権ポスターの展示と入賞作品の表彰式を実施しました。

人権標語部門  最優秀賞
内子小学校六年 宮内 雄慎さん

それだめと
言える勇氣
ありますか

人権ポスター部門  最優秀賞
内子小学校六年 沖永 真央さん



天候にも恵まれ、四年ぶりとなるバザーの開催など、約八百人の方々にご来場いただきました。

盛大に開催ができましたのも各種団体・学校・子育て支援センター・保育園・児童館・中央自治会・城廻自治会・地域住民の皆さまからのご支援ならびにご協力のおかげです。「本当にありがとうございました」職員一同、人権意識の向上のため交流を通じてより一層、啓発活動に取り組んで参ります。次年度も、どうぞ宜しくお願いいたします。

健康講座

十二月十二日(火)に町保健師の山田 光恵さんを講師に「こころの健康」と題し健康講座を開催しました。近年増加する心の病は、主にストレス等が原因にあげられますが、一人で抱え込まず友人や家族など相談できる環境づくりが大切です。当館では人権に関する問題や各種相談ごとを承っておりますので来館ください。

調理実習では、内子町管理栄養士の寺尾 莉咲さん指導のもと、野菜たっぷり「元気がでるごはん」をつくって試食しました。

次回は、二月二十七日(火)で今年度の最終講座となります。



第七十四回 全国人権・同和教育研究大会

十一月二十五日(土)・二十六日(日)に兵庫県明石市などで開催された全国人権・同和教育研究大会へ参加いたしました。

地元特別報告のパネルトーク「ガッツせんべいと語り合おうだれ一人とり残さない明日の人権教育を！」では、三名のパネラーの境遇から学習を通じて自分の差別意識への気づき、学び続ける大切さ、出会い・繋がり的重要性について訴え、おかしいことはおかしいと言わないといけない、人権・同和教育や多文化の共有化が課題と述べた。



会場から、二日間の講演や分科会で部落問題に関する内容を殆ど取りあげておらず、もっと人権と同和教育を関連付けた発表や意見が欲しいとの声があり、この問題の解決なくして人権課題の解決はない。との熱い意見が多数寄せられた。社会が多様化し、生き方や法律が変わっても、人の考え方が変わらないのは「正しい事は正しい、間違いは間違い」との実践ができていないためで、これまでの啓発が表層的なことで済まされていたのだと実感し、今回得た教訓を職務へ生かしたいと感じた。

第二回 やさしい人権講座

日時：二月二十二日(木)十九時
場所：うちこ福祉館二階ホール
入場：無料

演題：「介護から考える水平社宣言」
言々その人らしく生きるために」
講師：近藤 誠さん(西条市丹原サビ
スセンター 広域隣保館活動相談員)
内容：高齢者介護等における人権について

うちこ人権映画祭

日時：三月十一日(月)
中学生十四時・一般十九時
場所：うちこ福祉館二階ホール

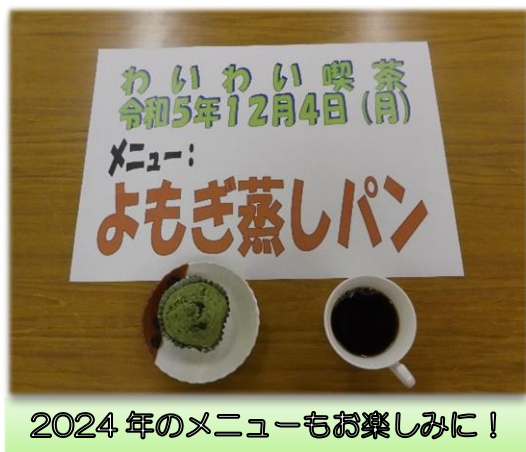
入場：無料

題名：「心の傷を癒すということ」
内容：幼少時に自身のルーツが韓国にあることを知り、主人公は自己を模索し続けながら成長し、精神科医となる。

やがて、神戸の街を大震災が襲い、彼は避難所で被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人々に寄り添い続ける。

わいわい喫茶

毎月、第一月曜日午後一時
館の利用者、地域の方々との交流が目的です。職員一同、みな様のご来館をお待ちしております。
ご近所・ご家族・ご友人たちと一緒に気軽にお越し下さい。
次回は、二月五日(月)です！



2024 年のメニューもお楽しみに！